



神戸市職員有志 兵庫県

「神戸みらい学習室」の学習支援と夢ゼミ



神戸みらい学習室

活動の概要

経済的な事情のほか、さまざまな理由で塾に通えない中学生に、無料で学習支援が受けられる場を提供しています。学習室は、毎週日曜日に神戸市内の2校で実施。大学生や社会人のボランティア講師が、得意分野を生かして宿題から入試対策まで、個々の状況に寄り添う形で丁寧に対応しています。受講生は、学力向上とともに継続できたことに自信をつけ、『夢ゼミ』で未来の選択肢を広めつつ社会参加への意欲を高めています。2017年、市の職員有志が目指した学習室は、職務外の地域貢献を推奨する市の制度*創設を機に実現。休日に講師の日程調整や資料作成などを行い、円滑な運営を支えています。



学園都市校の教室でのひとコマです。受験に向かって地域の大人が寄り添い、伴走することで「やりぬく力」や「人に対するやさしい気持ち」を育んでもらうことを最大の目的としています。



さかのぼり学習やマンツーマン指導も実施。専門機関と不登校や発達障害への対応プランも検討中です。



大学生講師が「勉強が将来の可能性を広げてくれる」とアメリカでの留学体験を『夢ゼミ』で語る様子です。

活動の特徴

すべての子どもに 等しく教育の機会を

貧困の連鎖を断ち、将来に影響する大切な時期に等しく教育の機会をと願う代表の思いに有志が賛同。市職員が制度*を味方に休日返上で取り組む事業。



本山校での学習風景

*神戸市が全国に先駆けて導入した地域貢献応援制度。地域課題の解決に職員が職務外で取り組むことを推奨する目的で2017年4月に創設。

優秀なボランティア講師陣 +細やかなサポート

大学生、元塾講師、教師、大学教授らが講師で参加。受講生ごとにカルテを作成し、会議で習熟度や注意点を共有しながら成長をサポートしています。



2018年度卒業式

教育の質の向上と 量的拡大を目指して

運営費を寄付で賄う手弁当の活動は、市内7団体による学習支援連絡協議会を通じ、企業や行政も巻き込みつつ教育の質向上・量的拡大を目指しています。



神戸学習支援連絡協議会設立(2018年10月)

参加者の声

レベルを合わせ、親身になってわかるまで教えてもらえます。苦手な数学が嫌いではなくなり、大学に興味が出てきました。(受講生)

夢にはさまざまな道があり、いつか見えてくる自分の夢が楽しみだなあと思って、いつも『夢ゼミ』を見えています。(受講生)

低所得者にとって塾は高いハードル。親より選択肢を少なくしてほしくないと思う私にとって、ここは希望の光でした。(保護者)

顔を向けてくれるまでが第一歩なこと。長い目線で見て、勉強の仕方やがんばり方を意識して教えています。(講師/大学生)